

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 愛知教育大学附属名古屋中学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒461-0047

愛知県名古屋市東区大幸南一丁目126番地

E-mail 無し

Website http://www.nj.aichi-edu.ac.jp/

幼児児童生徒数 男子 236名 女子 280名 合計 516名

幼児・児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

(1) 活動の概要

テーマ

「持続可能な社会づくりの担い手を育むフィールドワーク(課題追究活動)」

① ねらい

現代的な課題、身の回りの生活にかかわる課題を追究することを通して、

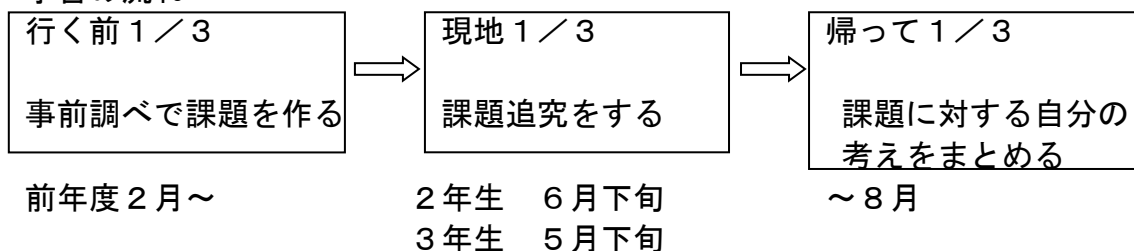
- ・各教科や領域で学んだことを総合的に生かす
- ・課題追究の成果を自らの生活に生かす
- ・生涯にわたって学び続ける態度を育む

② 課題追究のテーマ

宿泊地域の「環境・自然・歴史・文化・産業・平和など」

③ フィールドワーク(課題追究活動)の概要

学習の流れ



④ フィールドワークの実際

○2年生

(ア)「小豆島の生活」の日程

1日目・・・「小豆島を知る」島内見学（バス利用）

2日目・・・「小豆島を調べる」フィールドワーク（バス・フェリー・徒歩）
個人の課題に基づいて、訪問先での資料収集、聞き取り調査を中心とした現地調査を行う。

訪問先（役場、オリーブ農家、醤油工場、観光協会など約50カ所）

3日目・・・「小豆島を味わう」学級別分散行動（バス利用）

(イ) まとめの冊子作成

課題追究の経過と自分の考えをまとめた報告書を冊子として作成する。現地調査でお世話になった方にも送付している。

○3年生

(ア)「広島生活」の日程

1日目・・・「平和学習」

被爆体験講話、平和公園資料館見学、折り鶴を捧げる会、
合唱（原爆ドームの対岸親水テラスにて）

2日目・・・フィールドワーク（電車、タクシー、バス、フェリー、徒歩）

個人の課題に基づいて、訪問先での資料収集、聞き取り調査を中心とした現地調査を行う。

訪問先（広島城、海自第1術学校、お好み村組合、宮島水族館など
約90カ所）

3日目・・・コース別分散行動（バス利用）

加する。（生徒Bは、まとめを⑦と表記する）

(イ) 追究成果発表会

3年間取り組んできたフィールドワークの集大成の場として、「広島生活」の課題追究の成果を、参観者に分かりやすく伝えることを意識して発表する。6月下旬～7月上旬の午後3時間を活用し、10会場にわかれ、電子黒板や実物投影機などを使用して発表する。

(ウ) まとめの冊子作成

課題追究の経過と自分の考えをまとめた報告書を冊子として作成する。現地調査でお世話になった方にも送付している。

○1年生

「車山の生活」について

1年生はフィールドワークを実施していないが、「車山の生活」を2・3年生の課題追究活動に向けてのきっかけとして位置づけている。体験活動を行い、疑問に思っ調べてきたことや、話を聞いたり直接体験したりして学んだことを作文としてまとめ、冊子を作成する。

1日目・・・飯ごう炊さん キャンプファイヤー

2日目・・・体験活動（「乗馬&レザークラフト」など8コースから選択する）

3日目・・・ハイキング

フィールドワークの全体計画

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|------|--|----------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|-----------------------|-----------------------|-----|-----|-----|----|---------------------------------|------------------------------------|
| 第1学年 | | 体験コースについての事前学習 体験コース決定 | ・体験学習 ・礼状書き 〈宿泊行事〉 車山の生活 | まとめの冊子原稿作成 | ・まとめの冊子完成 ・体験場所へ発送 | | | | | | ・FW*についてオリエンテーション ・小豆島について知る | 小豆島についての事前学習 |
| 第2学年 | ・切り口の希望調 ・課題の明確化 訪問先の検討 | 追究課題の設定 質問票の作成 訪問先決定 | ・課題追究 ・礼状書き ・行動計画書の作成 ・マナー学習 | まとめの冊子原稿作成 | ・まとめの冊子完成 ・訪問場所へ発送 | | | | | | ・FW*についてオリエンテーション ・切り口の希望調査 | ・広島についての事前学習 ・課題の明確化 ・訪問先の検討 |
| 第3学年 | ・追究課題の設定 ・訪問先決定 ・仮説の設定 ・質問票の作成 ・行動計画書の作成 | ・平和学習 ・折鶴作成 | ・課題追究 ・礼状書き 〈宿泊行事〉 広島的生活 | 成果発表会 ・成果発表会の準備 ・まとめの冊子原稿作成 | | ・まとめの冊子完成 ・訪問場所へ発送 | | | | | | |

※ FW：フィールドワーク



「広島的生活」



「小豆島的生活」

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

| | | | |
|---|--|---|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境 | <input type="checkbox"/> 2. エネルギー | <input type="checkbox"/> 3. 防災 | <input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性 |
| <input type="checkbox"/> 5. 気候変動 | <input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性 | <input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産 | <input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和 |
| <input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉 | <input type="checkbox"/> 10. 食育 | <input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費 | <input type="checkbox"/> 12. 貧困 |
| <input type="checkbox"/> 13. エコパーク | <input type="checkbox"/> 14. ジオパーク | <input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED) | |
| <input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等 | <input type="checkbox"/> 17. その他() | | |

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

| | |
|---|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力 | <input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力 | <input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力 |
| <input type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度 | <input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度 | |
| <input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入) | |

ウ. 活動時間 (複数選択可)

| | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 教科の時間 | <input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間 |
| <input type="checkbox"/> 3. 特別活動等 | <input type="checkbox"/> 4. クラブ活動 |
| <input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述) | |

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

| |
|----------------------|
| 広島や小豆島のガイドブック, ネット情報 |
|----------------------|

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

本校の宿泊行事は現地での課題追求活動を行っている。その事前事後の活動も含めてフィールドワークと名付け、総合的な学習の時間として取り組んでいる。その活動をユネスコスクールとしての活動として位置づけている。

新たな訪問先の開拓や同じ訪問先であっても、個人課題を新たなものに設定するように支援をしている。小豆島へは50年近く継続をしており、小豆島で、今新たに取り組んでいる開発分野などを課題に設定できるように工夫している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

活動自身が継続的に行われてきている内容で、年間を通して、全体計画が定められている。体制的にも環境的にも十分に整っていると見える。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

保護者・教師を対象に、年間を通じた評価アンケートを実施している。保護者からは子どもたちの自主的な学びや表現力の育成において高い評価をいただいている。特に、学んだことが自分の今後の生き方、考え方に大きく影響を与えていると評価されている。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

昨年度は県の指導者交流会において発表をしたが、十分発信はできていない。今後、発信内容や方法について充実を図っていきたい。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

現地調査での各団体との交流は充実しているが、その他の協働や交流はできていない。今後の課題である。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

ユネスコスクールの指導者交流会や研修会には参加をしているが、ネットワーク形成まではできていない。今後の取組を検討したい。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

長年のお付き合いである小豆島での訪問先との交流は大変良好であり、小豆島町、土庄町とも町長さんや教育長さんも本校との交流を好意的に見ていただいている。

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

平成30年度も各学年でのフィールドワークを継続していく。個人課題に関しては、上でも記載したように、新たな分野での課題設定の工夫に向けて、情報収集をしていきたいと考える。

上記で課題とした、他校や他団体との交流・協働、本校からの発信に関して、検討をしていきたいと考える。